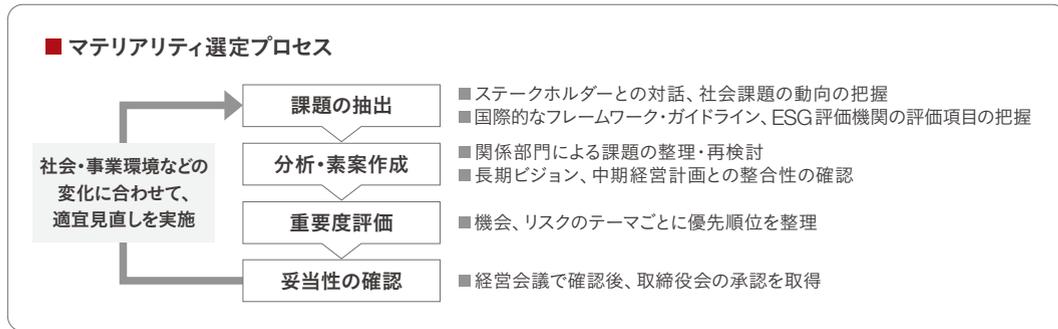


マテリアリティ

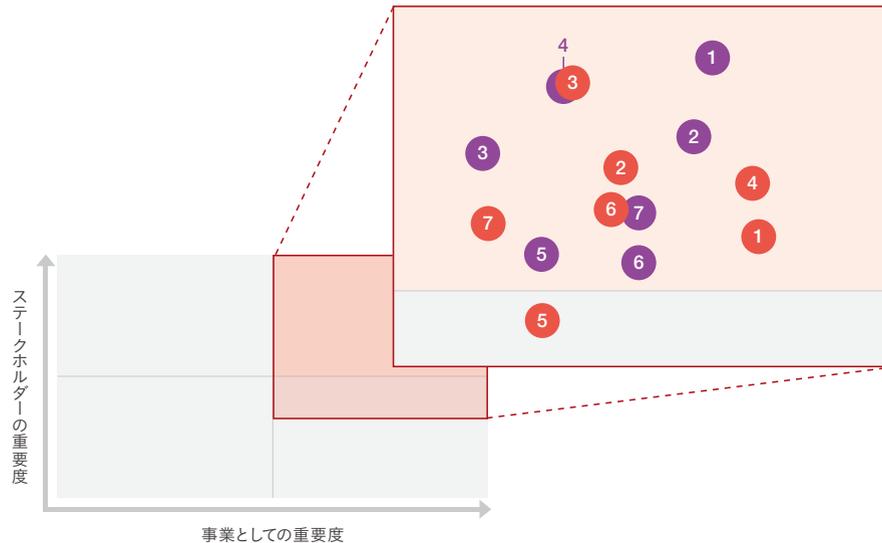
2023年に、2050年のありたい姿、2030年のビジョンを策定したことに伴い、マテリアリティ(重点課題)についても見直しを行い、「企業基盤」として人的資本やガバナンスの一層の強化を盛り込みました。また、2024年には外部環境などを踏まえてマテリアリティの一部を見直し、人権の尊重を新たに追加するとともに、2030年の目指す姿も変更しました。



課題の抽出と重要度評価

2030年を見据えて、さまざまな社会課題の中から機会とリスクの両側面で評価し、ステークホルダーにとっての重要度と、IDECグループにとっての重要度の両軸でマッピングを行いました。

4つのマテリアリティにおいて、持続可能な社会実現のために、特に重要度が高いと考えているテーマに絞ってご紹介します。



マテリアリティ	2030年の目指す姿	関連するSDGs
生産性向上 制御技術を活用した生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ IDECグループが培った制御技術、製品、システムソリューションの提供を通して、自社および世界中の顧客・社会の生産性、効率性の向上に貢献 	
安全・安心・ウェルビーイング 安全・安心および健康で豊かな生活の追求・実現	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人と機械の最適環境の実現を通じた、社会課題の解決による安全で快適な環境づくり、健康で豊かな生活の実現 ■ 技術開発・人材育成・マネジメント・社会ルール形成による安全性と生産性、ウェルビーイングの向上 	
気候変動 気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ IDECグループの技術、製品を活用した顧客・社会の環境負荷低減への貢献 ■ 自社における再生可能エネルギー活用などによるCO₂排出量の削減 	
企業基盤 価値創造を促進する経営構造の整備、人権の尊重、組織風土の醸成および人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『The IDEC Way』の浸透と、働きがいのある魅力的な職場づくりによる企業の活性化 ■ 高い倫理観を持って経営を行い、自社およびバリューチェーンにおける人権を尊重し、ガバナンス、コンプライアンスのさらなる強化を推進 ■ 人的資本の強化による、新たな価値やイノベーションを創造する人材の育成 	

マテリアリティ	機会	リスク
生産性向上	<ol style="list-style-type: none"> 1 制御技術・製品の提供による顧客の生産性、効率性の向上 2 ソリューション提供による顧客の生産性、効率性の向上 	<ol style="list-style-type: none"> 1 技術革新、環境変化、顧客ニーズへの対応不足による競争力の低下 2 品質、納期トラブルによる顧客満足度の低下
	安全・安心・ウェルビーイング	<ol style="list-style-type: none"> 3 制御機器・安全関連機器および各種システムの提供による安全で健康的な労働環境の整備 4 安全関連機器の提供による労働災害の低減
気候変動		<ol style="list-style-type: none"> 5 環境配慮型製品の開発促進による環境負荷低減と競争力向上
企業基盤	<ol style="list-style-type: none"> 6 働きがいのある職場環境の整備やDX推進による、労働生産性の向上や優秀な人材の確保、新たなビジネスチャンスの獲得 7 多様な価値観を持った人材の採用、人材の育成・教育によるイノベーションの創造と競争力の強化 	<ol style="list-style-type: none"> 6 人的資本への投資不足や労働環境の不備による、労働生産性の低下や人材の流出 7 人権課題への不対応、法規制や規範への違反などによる、社員エンゲージメントや社会的信用の低下